

孔子一代記

元

特別

又 9

1956

1



日伊又門
1956
卷一

北尾紅翠齋圖

孔子一代記

江戸書肆 高山房梓

博傳

大聖傳

大聖傳卷之一
 夫孔子ハ殷紂王の兄。微子故也。後胤宋の襄公
 の末裔。襄公ハ男と弗父何と云。父何ハ男と
 父周と云。夫より世子勝正考父と云。五世相續
 親族ハ友小盡亦別小公族と云。姓ハ孔氏ハ
 改故小考父ハ男也。孔父嘉と云。父嘉ハ男と云
 金父と云。金父ハ男と云。畢夷と云。畢夷ハ男と
 防叔と云。其ハ男と云。伯夏と云。伯夏ハ男也。叔梁
 紇と云。叔梁紇ハ魯國の大夫小して孔子の
 父也。魯の昌平郷也。陬邑と云。處小居也。

大聖傳



固智勇ある人あり。魯の襄公十年は夏魯
 人偃陽と云處城攻し叔梁紇も上大夫の
 孟獻子と云人小從ても小偃陽と攻大小戰
 て勇士の譽を得た多し其時孟獻子も詩小
 所謂有力如虎と云此人ありと云言し程の
 大勇あり叔梁紇始魯國の施氏の女に娶り
 りひ女子九人と生然ども男子も多れを再顔氏
 の女徴在と云つと娶りひ野合而生孔子と
 あり。叔梁紇年六十四歳小餘も少年の徴在
 と娶りしこと婚姻の礼小過多し故小野合と

小男ハ十六歳小して陽道通ト。六十四歳小
 して陽道絶し女ハ十四歳小して陰道通ト。
 四十九歳小して陰道絶し婚姻過此多し以
 皆野合と云原と云終小顔氏の女徴在ハ叔
 梁紇小嫁して子ありと哀み尼丘山に
 禱し小果て其驗ありて魯の襄公二十二
 庚戌の年十一月庚子日小孔子証生まら
 一説小叔梁紇夫婦共ニ丘山に至て男
 子と生んると山神を禱ふ。其時山野に
 宿して懷妊しれ子と生故小野合と云

大聖傳一

三

孔子生れりて首上打頂うらへんして
 其形かたち尼丘山にきうさん象さうふ。故ゆゑふ名な氏し丘きうとつひ字あざなと
 仲尼ちゆうにとつ。孔子ちゆうに見みるに時とき嬉あそび戲あそぶふも常つと
 に俎豆くとうと陳ちんて禮容れいのちゆうと設まうけむひ。孔子
 三歳さんさいの時とき父叔梁紇しゆくりやうせつ卒す。是こゝ以もつ魯ろ東
 門とうもん防山ぼうさんとつ。其その後のち亦また母もも卒す
 一いつ々つれば。孔子ちゆうに是こゝと魯ろの五父ごふとつ云い知ちの衢ちゆうと
 殯いんの礼れいとあ。後のち邾しゆ人にんとつ輓えん
 父ふとつ云い者ものの母はは孔子ちゆうに小叔梁紇せうしゆくりやうせつが墓かぶ知ちと誨おしえ
 々つれば再母さいぼとつ父ふとつ其その小防山せうぼうさんへ合あせ葬さうせりつ。

孔子ちゆうに長ながふ及およ身み其その長なが九尺六寸。腰こしの太おほさ十圍じゆうゐ
 五寸と龍りゆうの額ひたい毫この脊せき河目かこく。陸りく類るい類るいは克かつ
 似に項きやう、皇陶かうたう子類しるい。肩かたハ子産しぜん子類しるい也なり。腰こしふ
 以下いげ禹王うゑん小及せうおよさふる三寸。人皆ひとみな孔子ちゆうにと長なが人
とつひ。時ときの唐たうの世よ帝てい聖せい人にんあり。皇陶かうたう克かつの
禹王夏かの世よ帝ていあり。舜しんの孔子ちゆうに天性てんせい聰明めいめい睿ずい智ち
謙を受うて天子てんしの位ゐにつ。孔子ちゆうに天てん性せい聰めい明めい睿ずい智ち
子て人皆ひとみなその徳とく。麻非まひとつ。或ある時とき
 魯ろの大夫たいふ孟懿子めいぎし其その子こと誡いまして云いる。聖せい人にんの
 後のち必かならず有あ達者たつしやと耳みみ。今いま孔子ちゆうに年少せうしやうして礼れい
 と好このむ。達者たつしやとつ。吾われ没ぼつあぐ若もろか

らば孔子と師とせしむるも教へり。其後致屋子
卒して其子孟鯀子父の讓以受て大夫の位に
立。父の教子順て。魯の大夫南宮敬叔と云人と共に
往て。礼と孔子を学時孔子年十七歳ありて
又十九歳の時宋の尹官氏女に娶りて居り。其
より一年と過て男子と生字と白奥と云名と
經と云魯の昭公孔子小鯉と云居の賜以孔子初て魯
の上大夫季子平子と云人小仕て小女史と云ふ
其の其後亦司職吏と云ふ司職吏と云ふ牛羊六畜
其後周國に適て周の礼と夫子小学と欲て居り

一南宮敬叔是を聞。孔子に従て俱小周に適
一として魯の君に願ひて魯の公是を許し
一乗車。兩馬一人の豎子敬叔小與豎子ト云小童を云
斯敬叔孔子ト俱小周の國に適て礼と老子小
学ふ老子ハ道德の人あり楚國苦縣の厲卿曲仁里と云
不仕て書を藏る室成夫より孔子又魯國へ及て居りて
弟子益進む。是時晉國の君平公淫亂ありて
六人の大夫權威を擅りて屢東國の諸侯に
伐。又楚の國の靈王威勢盛りて中國の諸侯を
侵す。又齊の國も六國より兵疆く。魯の

東隣あり。魯ハ小國カシテ兵弱ク。楚國ニ附ハ
 晉人怒リ。晉國カ附ケハ楚人来リ伐。或ハ齊
 人又師ヲ起シテ魯ヲ侵ス。於是魯ノ民大ニ
 患ク。魯ノ昭公二十年。孔子三十歳ニ至リ
 流ハ。此歳齊ノ景王大夫ナリ。晏平仲ト云
 人と俱ニ魯ヘ来リ。孔子子聖人ノ道ヲ問フ
 爰又其後昭公二十五年ニ至テ魯ノ季平
 子。邠昭伯ト云人と。雞ヲ鬪セシメ。平子已ラ
 雞ノ羽ヲ膠ト。沙ト云。以テ播。昭伯是ヲ
 見シ己ガ雞ノ距ト金ニテ為ス。平子見テそれ

昭伯吾權威と恐ル故の事なりと怒リ。
 昭伯が居る所の地の侵して己が室と云。昭
 伯是と大ニ怒ク。深く平子ガ恨ミ抱ク。
 其後昭公の子公爲ト云人季平子が政
 と擅ル。權威と專ル。季平子以テ惡シ。魯ノ公
 果公責の二人ツト云。謀。昭公ニ近ク勤。僚
 担ト云者ト以テ平子ト殺ン。昭公小申ル
 昭公此と云大夫の穢孫ト云者ヲ告ル
 穢孫これと耳ソレ下。是昭公ガ勢ノ弱キ
 故アリ。昭公無為方又。昭伯小告ク。昭伯ハ

雞のりりして恨み知らず平子をねむ
早連美列して昭公と俱いそ平子の室と攻平
子ハ是代夢ゆめしる知しり故備ちかなり知と
伐うちしるは是と防まぎ難く逃かげき至いたり登のぼり
車五乗と持もち出奔しゅまべいと請こひぬる
昭公を許ゆるさず平子以殺人とせり知小
戡孫叔孫の二人此亂と聞きき俱小来つ
平子以助昭公の師と伐うち小大敗やぶれ
昭公是と懼おそる齊の困へ出奔しゅまべいと
叔孫しゅくそんの執權しやくけんはり夫より季平子益政と

擅しんり行いくれば魯の困大亂らんふ於是孔子仕
官と辭いひぬる魚目と去て齊の困へ適あき齊
の大夫高昭子と云人の家臣けとありぬる
孔子齊せいよて詔樂しやくと大師だいし小學せうがくびぬる大師だいしの
役やくと詔樂しやくと大師だいしの君
景公小進せうしんしるを景公孔子の聖人せいじんなるるを
説せつひ尼谿にきと云大なる田でん地と以て封ほうと與人ひとと
欲ほしるが大夫晏嬰えんとらふ者是以聞きく
止とめ故景公是こ順したがひ此事と止とめ其後
齊の大夫等孔子と害がいせんと謀くるるふ

る。孔子少なりて弟子等と俱り。齊の
困と避く。又魯の困へ及り。孔子時小
年四十二歳。此歳魯の昭公。齊の地乾
炭と云。知めて卒し。昭公の弟
名弒宋と云人。讓りと受て位小立る。
是と魯の定公と云。定公位小立る。五年の
後季平子卒し。其子家と嗣て季
栢子と云。或時栢子費と云。知一井と穿
せし。土中より瓶のこぼる。器と得る
其中小形羊子似る。獸あり。人群集して

これと觀小。其名と識者なり。栢子怪して
土中より物を獲る。何如る。所以ある
やと孔子に問うれば。孔子對て曰。吾聞之
木石之怪。夔。罔閻。木石とハ山の石と云。夔とハ山
の石の形牛小似て一足ありて
角あり。一説ハ面人ありて身ハ猿なりと云。之と山鬼とハ
又山纒と云。罔閻ハ其形三歳の小兒の如く。黒を赤目して
耳を長く長し人の言語をなして。水怪ハ龍。罔象。罔
人をして迷惑あり。土怪ハ墳羊。墳羊ハ羊と雌雄
下名沐腫。是と以
て。羊あるべしと曰。小果して墳羊あり。
栢子と始魯人等孔子の博識と感。トク後
其後吳王夫差。越の國を伐し。越の師大不

大聖傳一

〇二

敗^ひし^て呉人越の都まで攻入^り。會稽山^に城^を毀^つれ^ば土中より人骨一節と得^る。其大^{なる}車^に餘^り不^し。人骨^を一^つして大なる骨^{なり}とて。呉人怪^しり^て。孔子の博学多識^{なる}を以^て。孔子^は使者^をと^りて骨^を何者^か最大^{なる}と問^はれ^ば。孔子^は其使者^に對^{して}曰^く。古夏の禹王^が羣神^を命^{じて}。會稽山^に會^はす^べと^す。神^と云^ふ。會稽山^は越^の國^の都^{なり}。其時^は防風氏^が禹王^の命^を違^はひ^て後^に至^り。故^に禹王^は其罪^を許^さず^に刑^を戮^す。防風氏^は諸侯^{あり}。時^は防風氏^が骨^の節^車に

餘^りき^り。是骨の大多^{なる}者^{なり}と曰^はれ^ば。呉の使者聞^き之^を善哉^と。聖人ありと。孔子と答^へて其博^学な^るを感^ず。困^は歸^る。又季栢子^は政^を怠^り。其臣陽虎^と云^ふ者^は已^に陪臣^{にして}魯の政^を執^る。權威^をと^り専^らむ^る。魯^は仕^たた^ぬ。退^きて詩書禮樂^を修^め。於^て是^に孔子彌衆^{なり}。孔子の徳^を聞^て。遠^方より来^り。業^を受^け不^し者多^し。時^は陽虎^は勝^りを^り得^て。齊の困^へ出^て奔^せ。

是時孔子年五十歳よりあり。又相
 子が臣より公山不狃（ハチウ）と云者あり。費（イ）と云如
 の宰（サ）あり。其れ（ハ）費と己が所領と
 かして相子不畔（ハチウ）に孔子と召（ヨ）孔子往んと欲
 移（シ）ひ。子路不悦（ハチウ）して（子路ハ孔子の弟子なり）是を止（ト）め
 る孔子是に順（オ）て行（ク）く。魯の定公孔子の
 大徳あるを聞（キ）。魯の中都の宰とあり。一年小
 して中都大に治（シ）り。四方の國皆是に聞
 く其法不順（ハチウ）て國を治（シ）る。夫より又司空
 の官とあり。又大司寇小遷（ハチウ）り。司寇

（共ニ周の六卿の二ツあり。司寇ハ刑罰司役なり） 是時齊の國より屢魯に
 侵（シ）む。魯よりも齊と伐（シ）る。戰止時をく民
 大に患（シ）ひ。孔子魯と相（シ）て國の政と聽（ク）ひ
 ば。於是存人魯と恐（シ）。兩國亦に好（シ）と結（ビ）
 盟（シ）とあり。此以後戰と止（ム）る。云魯の定
 公是に順（シ）ひ。定公十年の春齊の景公と夾
 谷と云知（シ）て好（シ）の會と志（ス）る。是時孔子
 定公と相（シ）俱（シ）小會（シ）小行（シ）る。存人是を聞（キ）大
 夫初午彌（ハチウ）と云者。景公小申（シ）る。孔丘礼と知
 ぶ。勇（シ）り。然（シ）バ兵と以（テ）て定公却（シ）さ。必

恐て祿子順ふべしと云。景公是言子順ひ
 まるはち夾谷の會にて。夷樂人より付舞樂
 小しき者あり。定公と却と人ともるが。孔子
 階下小ありて。是と視て趨き進んで有司小
 余ト。舞者と却と白くねむ。舞者却とさる
 かねば。孔子又左右に居きまふ。景公と祿の
 大夫晏平仲ときつと視りまふ。景公孔子
 の勇し恐む。心小怖く階下小居る。祿人
 麾てうの舞樂と去らる。又頃くあつと
 祿人言中の樂と奏とんと請る。景公

是は許しき。まをら。優倡侏儒戯とし
 く階下へ前こねハ。優倡ハ狂言のまぐひ侏儒ハ孔子
 階下より又是を視り。又進んで曰。匹夫小
 して諸侯と笑惑する者ハ。其罪誅さる
 當ふべしと曰て。有司小命して是等と誅
 戮し。まひふ。午足のあふ知と異ふる。皆
 ころねく。小なり。ころねく。於是景公孔子
 の勇と大小恐む。祿の困へ歸りて。先年魯
 の困めて侵し取るる。鄆。不陽。龜陰と云
 三つの田地と魯へ歸して。過るふと謝し

大聖傳卷之一終
くふ。是ノ時孔子五十一歳よりありき。齊ハ
大國なり。魯と恐れれて侵し。魯地を
歸し。又ハ隣國の諸侯皆魯城恐るる。魯
是皆孔子の明德盛んかりてよく民を治む
故あり。於是魯國大治王たりと云ふ也

大聖傳卷之一終

大聖傳卷之二

然るも魯の定公十二年孔子の弟子子路季
桓子が宰たり。魯の大夫叔孫氏季氏孟孫氏の
三家魯の君定公より勢を強くして領地の城
郭用害堅固なれば領地をめぐりて陪臣
いさむるやして勢を盛んして魯の大夫等も是を
くふ程ありき。子路其用害を頼むるを
か。長く魯の患をなす事と恐れり。
孔子も是を恐れれば三家の領地をめぐりて
師成三が如の城を墮さすこと定公曰定

大聖傳

公是より同心して。先叔孫氏が領地あり。何と云
知の城と墮たり。夫より季子栢子が領する費
と墮とる。費の宰なる公山不狃。是より順
と一なり。叔孫輒と云者とも謀りて。費乃
民と率て魯の都と襲る。定公大に驚馬地
て。孟孫。叔孫の二人と共に季子栢子が宮へ入つ
臺へ登るといひ。公山不狃。叔孫輒。とも不
栢子が宮に攻入つ。定公が登る。臺の側ま
る。攻入り。定公大に懼まる。是時孔子も
定公に従ひ臺の上へあがり。此と視りて

魯の大夫申句須。樂頌。と云二人の者。命じて
是と防ぎ戦ふ。費の兵ども此勢ひに懼る
逃げ退れ。申句須。樂頌と始。魯の兵是
と伐る。姑蔑と云知る。大に戦ひ費の兵は
敗る。於是に不狃。叔孫輒。魯に居る。不
能して。公山不狃の困へ出奔せり。故に費の
城とる。遂に墮。又孟孫氏に領地の成とも墮し
と云る。成の宰なる公歛處と云者。孟
孫子中より。成と墮。北に用害の地なり。
春より必北の門に來り。侵べり。又成は孟氏

大石傳二

〇二

と保障たもつちかひ知られれば成なりたれ時と孟氏まうしなりと云
 我防われかへがく成と墮おふたすす多し。君は是
 偽いつはりくもくさるるもくさるるひたれば孟孫此
 言いふ順したがひくふ。然も成と墮おふたと云れども
 公歛おん處まよ父成と堅固けんこ守まもりて怠おろそらざり
 一いっつ定公師ていこうしと出して圍かこむひしうども
 弗な克まして圍と解とき師とくくさるるが
 くて定公十四年孔子年五十六歳まなり
 大司寇たいしかうと宰相さうしやうとをくさるる。冉に
 該か行かうひし。是時孔子魯の大夫だいふなる。正郊せいこう

と云者魯の法度と亂みだられば孔子これと
 許ゆるむ少正卯せうせいまうと誅つとむ。孔子政せいを行ひし
 三ヶ月さんげつして大子治ちす。羔豚かうとんと賣うり者ものも
 移うつすといふ。男女なんにょ往還わうわんする者も塗つちと列らす。
 財寶さいほう路ろ子遺いす。民是と拾ひろはざりし
 森の大夫等しんのだいふらう聞きてしひくわ。孔子政せいと
 ろさろささ魚日いさひち必かならずば霸王はくわうとくんんん
 天子と輔すけ佐たす然しか不時ふじ我國魯わがくにろ近ちかくく魯の兵へい必かならずば生なる
 我國と伐つて。先年夾谷けいこの會あひふます。魯の君定
 公と却かへりきる。恨うらみと報むかへりとりて懼おそむ

けらぐ。齊の大夫稷鉏と云者。先嘗て魯の君
 賄賂せんとす。齊の君此言を順ひて。齊の
 國中の女子舞樂とせん好者八十人とせん。ひ
 皆文衣ときせ。又文馬三十駟馬四匹と。と魯
 の君子遺つて。の女樂文馬と魯の城の南に方。
 高門の外に陳とす。季栢子と魯と受て之を
 とせ。往く。女樂と觀ふ。終日して政を
 怠る。の女樂等が美人なりと愛して。日夜
 酒宴と催し舞樂とみさ。の政と聽さる
 る。三日。於是孔子仕官と辭し去人と欲し。

して都と出。魯の南にと云。知子一宿志あり。
 栢子は是と悔ふ。孔子夫より衛の國に
 適して。子路が妻の兄。顔濁鄒が家子居
 る。志ふ。衛の君靈公と魯と聞ひて。孔子
 子見魯子居より。一時。祿幾何得む。ひし。と
 問ひし。魯に。孔子魯に在て。奉粟六萬あり
 と曰はば。衛もも。はら。又粟六萬と以て扶
 持し。魯に。きて。衛子居より。頃あり。時子
 或人孔子と靈公を讒し。魯に。孔子罪と獲
 とと恐む。衛子居より。十月して

去つて又陳の國へ適人として匡と云知とさき
より先年魯の陽虎来て匡と大よさかや
るやうなり。匡人陽虎と恨居りけるが孔子
の狀陽虎に似る也。きかを見て陽虎あり
と思ひ。孔子と拘居りける。五日に及ぶ未
許諸弟子これと大に懼る。孔子懼し
たあらん。時子衛の大夫なる甯武子と云人の
とさけり。無難匠とせらる。夫より蒲
と云知一適き多し。一月あり居りひて又
衛の國へ入り。賢者ありける大夫の遠

伯玉と云人の家子居りひり。衛の靈公の
妻夫人子南子と云あり。これと聞て伯
玉の家子使して孔子を見せし。孔子辭
し。南子に已に。南子に見せし
子路これと悦。又靈公も見エた
多し。再衛に居り。一月あり居り。
或時靈公外へ出る。夫人南子と同車
に乘。孔子と次乘し。車より
孔子これと不悦。吾未徳と好し。色と好か
る者として。又衛と去り。曹と云

國と過り。宋の國へ適す。是歲魯の君定
公卒去し。其子蔣と云人位を立。是と
魯の哀公と云。孔子宋の國に居たり。或時
大樹の下に。諸弟子は。禮儀を教居る。
宋に大夫司馬桓魋と云者。司馬ハ、
孔子を惡殺んとし。其樹を拔く。弟子
等。孔子と云れ速に此國を去んと曰。孔子曰
天徳と云予を生ず。桓魋と云れ予と如何也。
孔子ハ徳と天子得たり。故に桓魋をきく
如何孔子は殺すと得たり。やと曰く。

孔子又宋國と去つて。鄭の國へ適す。道を
弟子等後て孔子獨。郭と云如の東門
行たり。鄭の國の人始布子郷と云者
見。孔子の弟子子貢と云人。つひつひハ
東門子人あり。其額ハ堯に似て。其項ハ皇
陶に類し。其肩ハ子産に類し。然れども
腰より下。禹王子及ざる。三寸。一の卷
鬣と云。喪家の物の如し。孔子貢
是と孔子を告ふ。孔子笑て状の如く。未
知。喪家の狗に似たり。とハきりある。

大聖傳

五

曰く。喪ある家子に存ある子に。狗も飲食
 乞ふ。瘦衰ふ。孔子も亂世に生きをひて
 聖人の道を行ふと不得く。状も瘦衰
 へまひ。故もくは。累之と志を得ぬ
 貌あり。斯孔子ハ陳の國に適りて陳の
 大夫司城貞子か家子居り。一歳あり
 或時隼飛来りて陳の君湣公の庭
 へ墜て死を。これと見ふ。楛矢も射は
 らぬ。其矢の長一尺八寸あり。鏃石にて
 つくふ。楛矢と云ハ木
 と以て作る矢也。湣公あやも使して孔子に

問孔子對て隼の来るを遠く。これ肅慎
 の矢あり。昔周の武王師と起して。殷の紂
 王を克。道と九夷百蠻と通む。九夷ハ東方の夷
 百蠻ハ夷狄各其方賄と以て貢物とん。方賄ハ國
 の百種あり。此時肅慎より。楛矢と貢し。武王
 令之徳以昭せんを欲し。陳國の先祖ハ其矢
 と分あり。まひ。曰く。湣公
 試し故府と求る。果して楛矢あり。湣公
 と始陳人孔子の博物と感とる。肅慎も
 北方の夷の國なり。韃靼國の中あり。と

こゝろ射し多し集矢とおひきく遠く
 飛ぶ陳の困へおちきりなり。孔子陳に居る
 り三歳たあつて。晋國楚國強と争ひそ。
 更陳と伐。又ハ吳國より陳を侵しくるふ
 及。孔子又陳と去つて蒲と過るなり。蒲人公
 叔と云者上子畔き。蒲と押領志するが孔子と
 さえとぶめて不許。時孔子は弟子子公良
 孺と云者のあり。自車五乘とりり孔子に
 後ひいが其人賢なりて勇力あり孔子よひ
 りらと吾夫子は後て。前より丘より難よ

遇。今又此知るて再難は雅。是天の命あり。
 今夫子の為に闘て死をべしとて闘し
 甚疾し。蒲人これと懼きて。苟衛の困へ
 いくるを人を許して出きんとらひる故。孔子
 固盟とてしるす故。蒲人孔子と東に方
 の門より放ち出たり。夫より又衛へ適多
 多しゆ人子貢。盟ハ負きまどとらひるは
 孔子蒲人子盟ハ要盟なり。要盟ハい申し
 聴くぬい故。負けるも罪をいとい。寔は靈
 公と孔子の妻りありと耳。喜で自國の外まで

八四三

遠く迎ひら子出いるひいりる。孔子衛ゑいに居ゐるを
 靈れい公こう老らう子し政せい子し急きゅう召めい。孔子と用もちぎりしるを。
 孔子歎たんぶく曰いハ。苟い我がと用もちけりしるの何なにもならず。
 一年いちねんして教きょう。三年さんねんして必かならず困こま家けと治さす。
 覇は王おうもさんざんをれりして曰いはるふ。於是こゝ孔子
 衛ゑいと去さる。爰こゝ小せう又また晋しんの困こまの大夫たいふ蒯くわい相しやう子しが
 領りやう地ちにある。中ちゆう年ねんといふ知ちの宰さいからふ佛ひつ胙せうと
 云い者もの。中ちゆう年ねんと押おし領りやうして蒯くわい相しやう子しに畔はなきし使つかと
 して孔子と召よぶ。孔子ゆりんとするに子路しよ悦えつむ
 して前まへに夫子ふ子しをままして教言ごんありし君きん子しに不ふ

善ぜんとある者の困こまは入いらぬと曰いふ。今いま佛ふつ胙せうハ
 中ちゆう年ねんと押おし領りやうしる。主人しゆじんに畔はなきし者ものあり
 ちとふ夫子ふ子しゆきたらぬんといふからし如何いかに
 こゝといふ孔子こうしきいて夫おつ至きて堅かたののハ磨こらす
 といふからし至いたるに白しろののハ涅せむらぬらぬら故ゆゑに濁にごす
 といふからし汗あせといふからし又また或ある時とき孔子こうし分わか
 子しといふからし磬けいといふからし蕢くわいといふからし荷か者もの孔子こうしの
 門かどといふからし磬けいといふからし蕢くわいといふからし荷か者もの孔子こうしの
 の音ねといふからし世よといふからし憂うれふからしの者もの

大聖傳二

大河あり。孔子濟とあり。特晋の大夫
 竇鳴犢。公孫華。と云。二人の者殺せり。と
 言ひ。河水に臨て歎して曰。河水洋洋。て
 義哉。我此河と不濟。ハ命なり。彼二ハ晋の
 賢人あり。趙簡子未已。志を得。時ハ彼二
 人子。志がひ。志を得。ふ。及て。是と殺。是
 不義あり。鳥獸。不義。居。况我。き
 て。曰。趙簡子。見。とやん。還。ふ。
 後。取。操。と云。曲。とつ。て。と。哀。し。む。し。
 大聖傳 卷之二終

